

放課後子ども教室「キッズi」 参加申し込みを受け付け

【問】 青少年育成課 ☎(84)0017
ID 1001350

対 象／小学新1～3年生
内 容／市内の各小学校で、4月中旬～令和3年3月中旬(新1年生は5月中旬から)の週3日程度、授業終了後に教室で自主学習や体験活動を行う(1時間程度)
定 員／各校40人(抽選)
申し込み／2月1日(土)～18日(火)に電子申請
※保険料が必要

小学校の就学通知書 2月中に届かない場合は連絡を

【問】 教育文化部総務課 ☎(85)7070
ID 1012511

4月に新しく小学校へ入学する児童がいる保護者へ、1月下旬に就学通知書を送付しました。
外国籍で、市内の小学校へ入学を希望する方へ
入学手続きを済ませていない場合は、本庁舎教育文化部総務課で手続きをしてください。

給食費・学用品費など 就学費用を援助

【問】 学校教育課 ☎(85)7072
ID 1001675

市では、子どもを小中学校に通学させるのに経済的に困りの保護者に、給食・学用品などの費用を援助します。
また小中学校への入学準備の学用品費の支給を入学前に行います(2月末までに申請が必要)。対象の要件など詳しくは、お尋ねください。

本庁舎・木曽川庁舎の 学習室のご利用を

【問】 青少年育成課 ☎(84)0017
ID 1017571

日 時／2月8日～23日の土・日曜日、祝日
午前9時～午後5時(23日は本庁舎だけ)
対 象／市内在住・在学の中学・高校生(生徒手帳を持参)

国民年金保険料 まとめて前払いすると 割引が受けられます

【問】 保険年金課 ☎(28)9014
ID 1000842

国民年金保険料は、2年分・1年分・半年分をまとめて支払うことにより、割引を受けることができ、口座振替の方が現金払いやクレジットカード払いより割引額が多くなります。口座振替で毎月納付する場合も、翌月ではなく、その月に引き落とす手続きをすれば、割引が受けられます。



希望する方は、一宮年金事務所や引き落としを希望する金融機関でお申し込みください。申込用紙は本庁舎保険年金課、尾西庁舎窓口課、木曽川庁舎総務窓口課、出張所でも配布しています。

なお令和2年度分または2・3年度分をまとめて支払う場合は、2月中にお申し込みください。詳しくは、一宮年金事務所(☎(45)1418)へお尋ねください。

春休み期間限定の児童クラブ 利用申し込みを受け付けます

◆対 象(利用日)

保護者が仕事などで不在になる次の児童

- ①令和元年度の小学1～6年生
(3月25日～31日の月～土曜日)
- ②令和2年度の小学新1～6年生
(4月1日～6日の月～土曜日)

※時間は午前7時30分～午後7時
※利用できる保護者の勤務条件は、学年で異なります。



受付期間 2月21日(金)～29日(土)

- 児 童 館** 月～土曜日の午前9時30分～午後5時30分
- 児童クラブ** 月～土曜日の午後2時～5時30分
(土曜日閉所の場合あり)

※申込書は2月10日(月)から児童クラブで配布。
募集施設は、受付期間にお知らせ

申し込み方法など詳しくは、
ID 1018285をご確認ください

【問】 子育て支援課 ☎(28)9022

窓口の時間延長・休日開設

4月から一部の取扱業務を廃止

【問】 納税課 ☎(28)8969
資産税課 ☎(28)8965
ID 1009956

4月から、窓口の時間延長・休日開設では、次の業務の取り扱いを廃止します。
■ 賦する籍 / 「市税の収納」「固定資産に係る評価証明書や納税証明書などの発行」
※市県民税と軽自動車税の証明に係る業務は、引き続き行います。
※市税の納付は、市や金融機関の窓口以外（コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ・クレジットカード）でもできます。
※固定資産の各種証明書は郵送で請求できます。

いちのみや子育て支援サイトへのバナー広告を募集

【問】 子育て支援課 ☎(28)9022
ID 1019284 申込書などダウンロード可
掲載期間 / 4月16日(木)～令和3年4月15日(木)
掲載料 / 1枠年6万円(税込み)
申し込み / 3月13日(金)までに申込書・広告案を持参・ファクス・電子メール(掲載規格など詳しくは、掲載要領で確認)

市民活動ポータルサイトへのバナー広告を募集

【問】 市民活動支援センター ☎(23)8883
ID 1018370 申込書などダウンロード可
掲載期間 / 4月16日(木)～令和3年4月15日(木)
掲載料 / 1枠年3万円(税込み)
申し込み / 3月16日(月)までに申込書・広告案をi-ビル3階市民活動支援センター(掲載規格など詳しくは、掲載要領で確認)

市ウェブサイトへのバナー広告を募集

【問】 行政課 ☎(28)8956
ID 1002708 申込書などダウンロード可
掲載期間 / 4月16日(木)～令和3年4月15日(木)
(1カ月単位で申し込み可)
掲載料 / 1枠月1万円(税込み)
申し込み / 3月6日(金)までに申込書・広告案を持参・電子メール(4月以降の申込期限は毎月16日。掲載開始日は翌月16日。16日が土・日曜日の場合は翌開庁日。掲載規格など詳しくは、広告作成ガイドラインで確認)

市立図書館の雑誌カバーへの有料広告を募集

【問】 中央図書館 ☎(72)2343
ID 1018103 申込書などダウンロード可
掲載期間 / 当該年度末の最新号雑誌の発行分まで(自動継続あり)
掲載料 / 当該年度末までの雑誌購入料
申し込み / 申込書と必要書類を持参または郵送(申込書は市立図書館で配布。応募資格・必要書類など詳しくは、募集要領で確認)

弁護士による多重債務者無料相談会

【問】 商工観光課 ☎(28)9148
ID 1021165
日時 / 2月19日(水) 午前9時～午後4時
会場 / 本庁舎商工観光課
対象 / 市内在住の方
定員 / 8人(先着。1人40分)
申し込み / 2月3日(月)～17日(月)に電話で商工観光課

市営駐車場 一宮駅東地下駐車場・銀座通公共駐車場

定期駐車券の利用者を募集 ID 1012531

利用期間 4月1日(水)～令和3年3月31日(水)

申し込み 3月1日(日)～7日(土)の午前7時～翌午前0時に一宮駅東地下駐車場管理人室(抽選、1人1台1区分、複数申し込みは無効)

【問】 管財課 ☎(28)8961

定期駐車券料金表

区分	利用時間	料金 (1カ月)
全日	終日	16,500円
昼間	午前7時～翌午前0時	11,000円
夜間	午後8時30分～翌午前8時30分	5,500円
午前1時～7時は閉鎖 駐車場の指定、車庫証明の発行は不可		



一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月の中核市移行を目指しています。中核市に関するいろいろな情報を紹介します。

【問】中核市移行推進課 ☎(85)7003

第8回 よくある質問



中核市になると、市の仕事が増えるらしいけど…

市の職員は増えるの？

新しい仕事に必要な職員数として、85人の増員を予定しています。特に保健所設置のため、現在の県一宮保健所と同規模の人員が必要と考えています。職員の配置に当たっては、増員だけではなく、組織再編による効率化や、職員の能力向上も図ります。

市の財政は大丈夫？

新しい仕事を行うために毎年かかる費用は、国からの地方交付税の増額によって賄えると見込んでいますが、支出が大幅に増えることのないよう、財政状況を考えながら事務の実施方法を調整していきます。

税金が上がるの？

中核市移行により、税金や公共料金が上がることはありません。



詳しくは、中核市移行基本計画 (ID1031923)をご確認ください。

地域づくり協議会 活動だより 59

～木曾川町連区編～

木曾川町連区地域づくり協議会は、発足から6年が経過しました。現在、市の交付金を活用した提案事業に取り組んでいます。

「安全で安心なまちづくり事業」では、非常時の災害に備え、町内の4小中学校に防災倉庫を設置しました。

「思いやりのあるまちづくり事業」では、町内の社会資源を機能・役割で類型化して紹介した「きそがわつながりマップ」を作成し、全戸に配布しました。また役割分担をして実際に「声かけ」を行う「認知症徘徊模擬訓練」も実施し、参加者にとって貴重な体験の機会になりました。この市内初めての試みはI.C.Cで放映されました。

「地域の歴史・文化を次世代に継承する事業」では、木曾川町の歴史・文化・名所旧跡をまと

めた冊子「ふるさと今昔」を全戸に配布しました。

また昨年度から新企画として、里小牧の木曾川緑地公園で「雀のお宿 野外音楽祭」を開催しています。爽やかな秋晴れの下、中野市長をはじめ約750人の来場者があり、世代を超えた「ふれあいと絆」を深める場となりました。

今後も町会長協議会や関係諸団体との連携を図りながら「安全・安心で思いやりあふれる町づくり」を目指した活動を推進していきます。



◀「雀のお宿 野外音楽祭」の様子

【問】市民協働課 ☎(28)8954

環境センター ニュース

環境にもお財布にも優しい！ 食品ロスを減らしましょう

食品ロスの約半分は家庭から

643万 t …、日本で1年間に発生する食品ロスです。まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」といいます。その約半分は家庭から排出されています。

こんなことはありませんか？

- ◇ 家族の予定を確認せず、いつもの量の食事を作って食べ切れなかった
- ◇ 特売日に買い込んだ食品を使い切れず無駄にした
- ◇ 根菜の皮を厚くむいて捨てた

食品ロスを削減すると…

- ▶ ごみ処理費用の削減
- ▶ 焼却や輸送時のCO₂発生量の削減
- ▶ 食費の削減

家計支出の
4分の1を
占める



【問】 環境センター ☎(45)7004

いちのみや あれこれ

～テイテイコブシ～

昔々、今の東加賀野井が、まだ美濃の国だった頃の話です。

ある旅の僧がこの地を訪れて、宿を探して回りましたが、うさんくさがって誰も泊めてくれません。結局「泊まって帰ってきた者は一人もいない」という、恐ろしいうさのある無人の荒れ寺に泊まることになりました。僧が寺でお経を唱えていると突如、天井から大入道が降りてきました。僧は震えながらも、一心不乱にお経を唱えました。すると「テイテイコブシはあるか！」と寺の扉をたたく音がします。「誰だ！」と大入道が答えると、そこになんと、巨大なコイとニワトリと白狐の化け物が現れ、テイテイコブシと呼ばれる大入道とどうやって僧を食べようか話し始めたではありませんか。このままでは食べられる

と思った僧は覚悟を決め、錫杖しやくじょうを構えて大声で一喝。すると、驚いた化け物たちは煙のように消えていなくなりました。

翌日、寺の天井裏を調べると、そこにはツバキで作られた槌つちとテイテイコブシが着ていた衣がありました。テイテイコブシの正体は、この槌が化けて出たものでした。それ以来この村では、ツバキで道具を作ることはしなくなりました。

博物館では、企画展「くらしの道具～博物館にすむ妖怪たち～」を3月8日(日)まで開催中です。妖怪のモデルとなったさまざまな昔の道具を展示していますので、ぜひご覧ください。



▲衣と槌

【問】 博物館 ☎(46)3215